

令和2年12月21日

第80回医療薬学公開シンポジウム 開催報告書

第80回医療薬学公開シンポジウム実行委員長
群馬大学医学部附属病院 教授・薬剤部長
山本康次郎

第80回医療薬学公開シンポジウムを2020年9月27日(日)、群馬県前橋市(昌賢学園前橋ホール)にて開催致しましたので、報告申し上げます。本シンポジウムは当初現地開催を想定して準備しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、現地開催とWEB開催を組み合わせたハイブリッド式の開催と致しました。WEB開催を取り入れたことにより、非常に多くの方に参加登録頂き、当日は現地参加者34名、WEB参加者465名の計499名(うち、医療薬学会会員378名)にご参加いただきました。

シンポジウムは「地域包括ケアにおける認定・専門薬剤師の役割」をメインテーマとし、講演2題、シンポジウム2題で構成され、講演(座長:高崎健康福祉大学薬学部 大林恭子 教授)では一般社団法人群馬県薬剤師会会長 田尻 耕太郎先生より「群馬県における地域医療と認定・専門薬剤師への期待」、群馬大学医学部附属病院腫瘍センター長 塚本憲史先生より「がん薬物療法における地域連携 ～薬剤師に期待すること～」についてご講演いただきました。シンポジウム1(座長:群馬大学医学部附属病院薬剤部 八島秀明 助教)では実行委員長の山本より「医療薬学会認定・専門薬剤師制度の紹介」を行ったのち、高崎健康福祉大学薬学部 大林恭子教授より「研究のはじめ方・進め方・まとめ方」、群馬大学医学部附属病院薬剤部 勝見重昭薬剤師より「認定・専門薬剤師申請における症例報告のポイント」、群馬大学大学院医学系研究科 荒木拓也准教授より「臨床現場における研究の紹介・臨床現場と大学の共同研究」と、認定・専門薬剤師の取得に向けたポイントについてご講演いただきました。シンポジウム2(座長:高崎健康福祉大学薬学部 長嶺歩助教)では、群馬大学医学部附属病院薬剤部 八島秀明助教より「地域医療に活かす抗菌化学療法の知識」、群馬県立がんセンター薬剤部 藤田行代志薬剤課長より「がん専門薬剤師制度の広がり」と地域医療」、神岡産婦人科医院 荒木聖美薬剤師より「認定・専門の取得と更新、NST 専門薬剤師による地域医療への貢献と課題」と、各種認定薬剤師の地域医療における実際的な取り組みと課題についてご講演いただき、高崎健康福祉大学薬学部 長嶺歩助教から「専門薬剤師と薬学部生教育」についてご講演いただきました。

ハイブリッド式かつWEB参加者からの質問も受け付けるという初めての試みを取り入れたこともあり、不慣れな点が多々ございましたが、学会事務局ならびに多くの先生方のご支援、ご協力により、非常に多くのご参加を頂き、活発なご討論をいただくことが出来ました。

本シンポジウム開催にあたり、ご支援いただきました医療薬学会をはじめ、ご協力いただきました全ての方に心より感謝申し上げます。